

2023年8月7日

関係各位

有効期限切れのコロナワクチンを投与していた件について

医療法人社団 竜山会  
金沢古府記念病院  
院長 越田 潔

当院にて、2023年7月27日と8月4日に接種された患者様、合計13名の方に対して、2023年7月25日有効期限の「モデルナ・スパイクバックス筋注2価(BA.4-5)」を投与していたことが判明しました。

本件について、8月4日に金沢市保健所に報告し、当該13名の患者様とはすでに連絡が取れており、体調悪化などがなければ健康観察をお願いしているところです。

有効期限切れのワクチンを投与してしまった原因には、モデルナ社製のワクチンは、ファイザー社製のものと同様に有効期限の延長があると誤認識していたことが挙げられます。実際にはモデルナ社のワクチンには有効期限の延長はありませんでした。また投与前に有効期限の確認をしていなかった体制の不備も挙げられます。今後、このようなことがないよう院内で再発防止に取り組んでまいります。

この度は、誤って有効期限切れのワクチンを投与してしまった患者様、並びに地域の皆様に不安な思いをさせてしまい、大変申し訳ございませんでした。

今後、疾病予防という公衆衛生の発展に少しでも寄与できるよう、そして予防接種の信頼性を損ねることのないよう、職員一同、再発防止に取り組んで参ります。

以上